

みんなで広げる

防災の輪

昭和35年に日本を襲ったチリ沖地震の遠地津波の際は、北海道と東北の三陸地方を中心に多数の死者行方不明者を出し、浜中町では死傷者、厚岸町でも水産施設を中心に大きな被害をもたらしています。

昭和35年に日本を襲ったチリ沖地震の遠地津波の際は、北海道と東北の三陸地方を中心に多数の死者行方不明者を出し、浜中町では死傷者、厚岸町でも水産施設を中心に大きな被害をもたらしています。

【遠地津波と近地津波の特性】

	遠地津波	近地津波
揺れの有無	無	有
津波到達時間	数時間～20数時間	数分～数十分
避難行動開始までの猶予時間	長い	短い

遠地津波とは、気象庁の定義によると『日本の沿岸から600km以上離れた場所が発生した地震による津波』を指します。反対に、『日本の沿岸から600km以内の場所が発生した地震による津波』を近地津波と言います。

遠地津波をご存じですか？

今年の9月17日には、南米のチリ中部沿岸で地震が発生し、この地震による津波は20時間以上かけて日本に到達しました。大きな被害はなかったものの、日本の太平洋側全域には津波注意報が発表され、岩手県久慈市で80cmの津波を観測したことは、記憶に新しいかと思えます。

日本とチリの位置関係が地球のほぼ真裏に位置していることから、日本はチリ沖で発生した津波が集まってくる場所にあたります。併せて、日本とチリの間にある太平洋には、ほとんど障害物（大陸や島など）がないため、津波が高くなります。

遠地津波は、通常の津波と違い『揺れ』を感じなく、津波の到達までに時間がかかるため、津波警報等が発表されても危機感をあまり感じないかもしれません。

しかし、遠地津波は途中の沿岸で反射などを繰り返しながら、最初の津波が到達した後も複数の波が重なり合うなどして、次々と津波がやってきますので、地球の裏側で発生した大きな地震にも十分な警戒が必要です。

●問い合わせ／危機対策係 ☎ 223・224



【問い合わせ】

厚岸消防署 予防広報係
厚岸町松葉4丁目1番地
☎52-5111

平成27年各種出動件数

【平成27年9月30日現在】

・火災発生件数	2件
・救急出動	275件
・救助出動	4件
・ドクターヘリ出動	11件



『119番の日』

ご存じですか？

総務省消防庁では、消防に対する正しい理解と認識をさらに深めるとともに、防火意識の高揚、地域ぐるみの防災体制の確立を図ることを目的に、11月9日を『119番の日』と定めています。

皆さんは、正しい119番通報の方法をご存じですか？消火活動や救急活動は1分1秒を争う時間との勝負です。もし、119番通報の際に慌ててしまい、場所や状況を正しく伝えることができなければ、現場への到着が遅れ、被害が拡大し、助かるはずの命が助からなくなる場合もあります。

《119番通報は、落ち着いて通報しましょう》

消防署通信員がたずねる事は…

【火事の場合】

- ・住所(近くの目標物など)
- ・何が燃えているか
- ・逃げ遅れた人がいるか
- ・ケガをした人がいるか など

【救急の場合】

- ・住所(近くの目標物など)
- ・氏名、年齢、生年月日
- ・どういう状態なのか
- ・現病歴 など

通報の内容により、人工呼吸や胸骨圧迫(心臓マッサージ)などの応急処置をお願いする場合があります。応急処置を行う場合は、慌てずに落ち着いて、消防署通信員の指示に従うようにしてください。